

手術部

1 構成員

	平成17年3月31日現在
教授	0人
助教授	1人
講師（うち病院籍）	0人（0人）
助手（うち病院籍）	2人（2人）
医員	0人
研修医	0人
特別研究員	0人
大学院学生（うち他講座から）	0人（0人）
研究生	0人
外国人客員研究員	0人
技術職員（教務職員を含む）	0人
その他（技術補佐員等）	0人
合 計	3人

2 教官の異動状況

白石 義人（助教授）（2003.07.01～現職）

三条 芳光（助手）（1977.12.16～現職）

森田 耕司（助手）（1978.04.16～現職）

3 研究業績

数字は小数2位まで。

	平成16年度
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	3編（5.56編）
そのインパクトファクターの合計	0
(2) 論文形式のプロシーディングズ数	5編
(3) 総説数（うち邦文のもの）	3編（3編）
そのインパクトファクターの合計	0
(4) 著書数（うち邦文のもの）	2編（2編）
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	1編（1編）
そのインパクトファクターの合計	0

(1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

1. Kobayashi S, Bito H, Morita K, Katoh T, Sato S : Amsorb Plus and Dragorsorb Free, two

new-generation carbon dioxide absorbents that produce a low compound A concentration while providing sufficient CO₂ absorption capacity in simulated sevoflurane anesthesia. J Anesth. 2004 ; 18(4) : 277-81.

2. Kurita T, Kazama T, Morita K, Fujii S, Uraoka M, Takata K, Sato S : Influence of fluid infusion associated with high-volume blood loss on plasma propofol concentrations. Anesthesiology. 2004 ; 100(4) : 871-8

インパクトファクターの小計 [4.06]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. Kikura M, Morita K, Sato S : Pharmacokinetics and a simulation model of colforsin daropate, new forskolin derivative inotropic vasodilator, in patients undergoing coronary artery bypass grafting. Pharmacol Res. 2004 ; 49(3) : 275-81.

インパクトファクターの小計 [1.50]

(2) 論文形式のプロシーディングズ

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 三条芳光, 牧野 洋, 佐藤重仁, 他. 呼吸音3D可視化ソフトウェアVisiBreath の性能検証 : 既知サンプル音を対象として15. P58, 2004.
2. 三条芳光, 佐藤重仁, 牧野 洋. 臨床モニタリングにおける特許事象の系譜. 静岡県産学連携フォーラム. 2004. 1-2, 2004.

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

1. Makino H, Sanjo Y, et al : Description of a Heart Condition by Three-Dimensional Visualization of Cardiac Murmur Using a "Visual Stethoscope", Anesthesiology. A-598, 2004.
2. 牧野 洋, 三条芳光 他 : 音声可視化装置 第8報—心音の可視化—. 日本臨床麻酔学会誌24 (8). P240, 2004.

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. 望月圭太, 中井孝芳, 三条芳光, 他 : 聴診音可視化装置 "Visistetho" の開発. 第11回画像センシングシンポジウム講演論文集. 227-230, 2005

(3) 総 説

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 三条芳光, 森田耕司, 佐藤重仁 : 麻酔記録システムVOCAAR13年の経験 : 麻酔業務と麻酔経済分野への新展開 麻酔集中治療とテクノロジー (2003) 8-13, 2004
2. 森田耕司, 三条芳光, 白石義人, 佐藤重仁 : ハイテク麻酔を取り巻く麻酔関連機器の習熟 (日本臨床麻酔学会第23回大会高機能患者シミュレータ・ワークショップ) 日臨麻会誌24 : 310-

312, 2004.

インパクトファクターの小計 [0]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

1. 小林俊司, 中川智永子, 佐藤直史, 福田員茂, 及川文雄, 牧野 洋, 佐野秀樹, 足立裕史, 安澤則之, 五十嵐 寛, 岩本竜明, 加藤孝澄, 金丸哲也, 栗田忠代士, 越川総枝, 小島康裕, 里元麻衣子, 三条芳光, 江 暁菁, 白石義人, 鈴木 明, 寺田和弘, 土井松幸, 中島芳樹, 永田洋一, 水野香織, 望月利昭, 森田耕司, 岳 輝, 佐藤重仁, 山本純偉: ロクロニウムと新しい拮抗薬. 臨麻28: 905-912, 2004.

インパクトファクターの小計 [0]

(4) 著 書

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 森田耕司: 肺動脈カテーテル, 麻酔科診療プラクティス13巻: モニタリングのすべて, 92-98, 2004 文光堂, 東京
2. 三条芳光, 佐藤重仁: 麻酔情報システムの新しい流れ. 先端医療シリーズ33 麻酔科 (後藤, 並木, 他編). 335-339, 2005.

(5) 症例報告

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. 高橋重弥, 白石義人, 横山順一郎, 内山智浩: ラリンジアルマスクによる換気障害に陥った1症例. 麻酔53: 195-197, 2004.

インパクトファクターの小計 [0]

4 特許等の出願状況

	平成16年度
特許取得数 (出願中含む)	2件

1. 特許第358173号: 自動麻酔記録装置. (発明) 三条芳光, 池田和之. (権利) 池田和之, 三条芳光特許取得 (2004/8/6成立)
2. 特許第3625294号: ビジュアル聴診器, その画像表示方法およびその画像表示プログラム. (発明) 三条芳光, 佐藤重仁, 牧野 洋, 他. (権利) 国立大学法人浜松医科大学, 株式会社コー・プランニング (2004/12/10成立)

5 医学研究費取得状況

	平成16年度
(1) 文部科学省科学研究費	1件 (70万円)
(2) 厚生科学研究費	0件 (0万円)

(3) 他政府機関による研究助成	0件 (0万円)
(4) 財団助成金	0件 (0万円)
(5) 受託研究または共同研究	2件 (300万円)
(6) 奨学寄附金その他(民間より)	0件 (0万円)

(1) 文部科学省科学研究費

1. 三条芳光 (代表者) 萌芽研究：カラー三次元可視化聴診呼吸音モニターの萌芽的試作70万円 (継続)

(5) 受託研究または共同研究

1. 森田耕司：麻酔深度の表示装置技術に関する研究調査, (財) 浜松科学技術研究振興 1,500,000
2. 三条芳光：平成16年度静岡産業創造機構「呼吸音3次元可視化モニター装置の手術臨床応用の研究開発と製品化」 (継続) 1,000万円のうち浜松医大分150万円 (株) コー・プランニングより

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0件	1件
(2) シンポジウム発表数	0件	2件
(3) 学会座長回数	0件	4件
(4) 学会開催回数	0件	0件
(5) 学会役員等回数	0件	2件
(6) 一般演題発表数	3件	

(1) 国際学会等開催・参加

5) 一般発表

口頭発表

1. Morita K, Igarashi H, Sato S : Making EEG output on human patient simulator. 10th year anniversary of the Society in Europe for Simulation Applied to Medicine, June 17-19, 2004, Karolinska University Hospital, Huddinge, Sweden
2. Morita K, Shiraishi Y, Hui Y, Sato S : Making EEG simulator. 15th European Society of Computing and Technologies in Anaesthesia and Intensive Care annual meeting. Oct 7-9, 2004, Toulouse France
3. Morita K, Shiraishi Y, Sato S : Making EEG output on human patient simulator. IEEE International Workshop on Biomedical Circuits & Systems. Dec 1-3, 2004, Singapore

(2) 国内学会の開催・参加

2) 学会における特別講演・招待講演

1. 森田耕司：高機能麻酔患者シミュレーション（国内ユーザーからみた高機能麻酔患者シミュレータの問題点と展望），シミュレータを使用した教育と研究 講演，平成16年5月27, 28, 29日，日本麻酔科学会 第51回学術集会，愛知県名古屋市

3) シンポジウム発表

1. 白石義人：麻酔リスクのインフォームドコンセント，第24回日本臨床麻酔学会（パネルディスカッション）2004. 10. 14-16 大阪市
2. 白石義人：集中治療とリスクマネジメント，第32回日本集中治療医学会総会（シンポジウム）2005. 02. 24-26 東京都

4) 座長をした学会名

1. 森田耕司：日本麻酔科学会 第51回学術集会，愛知県名古屋市
2. 白石義人：日本麻酔科学会 第51回学術集会，愛知県名古屋市
3. Yoshito Shiraiishi：11th International Pain clinic World Society of Pain Clinicians, Tokyo
4. 白石義人：第24回日本臨床麻酔学会，大阪市

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

1. 森田耕司：日本麻酔・集中治療テクノロジー学会（平成13年より）評議員
2. 森田耕司：日本静脈麻酔インフュージョン研究会（平成13年より）評議員

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	0件	0件

9 共同研究の実施状況

	平成16年度
(1) 国際共同研究	0件
(2) 国内共同研究	0件
(3) 学内共同研究	0件

10 産学共同研究

	平成16年度
産学共同研究	1件

1. 森田耕司：麻酔深度の表示装置技術に関する研究調査，（財）浜松科学技術研究振興会

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

1. エントロピー，複雑度など確率論的冗長度による脳波解析と麻酔深度
2. 高機能麻酔患者シミュレータによるハイテク麻酔関連機器の習熟教育と訓練
3. 国内ユーザーからみた高機能麻酔患者シミュレータの問題点と展望
4. 自動麻酔機録システムによる麻酔業務と麻酔経済分野への新展開
5. 呼吸音の周波数解析による3次元解析

13 この期間中の特筆すべき業績，新技術の開発

1. 脳波数値モデルによる麻酔深度定量値の評価とその表示技術
2. 呼吸音の3次元可視化

15 新聞，雑誌等による報道

1. Makino H, Sanjo Y, et al. Society of Anesthesiologists 2004 Annual Meeting Press Releases.. 352-353. 2004 (<http://www2.asahq.org/web/miscfiles/2004PressReleases.pdf>)